

平成21年度第4回府中市男女共同参画推進懇談会会議録

- I 日 時 平成21年11月26日（木）午後6時半～8時半
- II 場 所 女性センター 第1会議室
- III 出 席
- (i) 委 員
小西会長、青野委員、明石委員、井沢委員、江田委員、中里委員、中嶋委員、藤田委員、四井委員
- (ii) 事務局
森井市民活動支援課男女共同参画担当主幹、松井男女共同参画推進係長、大沢事務職員
- IV 欠 席
諸橋副会長、後藤委員、日高委員
- V 傍聴者
なし
- VI 会議内容
- 1 開会
- 2 前回の議事録の確認
異議なく承認された。
- 3 配布資料確認
- ・ 資料1 ドメスティック・バイオレンスに関する資料【事前配布】
 - ・ 資料2 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策に関する基本的な方針（概要）【事前配布】
 - ・ 資料3 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の概要【事前配布】
 - ・ 資料4 配偶者からの暴力に関するデータ【事前配布】
 - ・ 資料5 STOP THE 暴力 配偶者からの暴力で悩んでいる方へ
 - ・ 資料6 DVに関する新聞記事
 - ・ 資料7 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書第三者評価案
 - ・ 資料8 府中市男女共同参画推進状況評価報告書第三者評価に関する質問事項について
- 4 報告事項
なし
- 5 協議事項
- (1) 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書 第三者評価について
第3回会議で分担した重点項目について、担当した委員がどのように第三者評価を行

ったか、また、感想を述べた。

- ・ 担当した二人の委員が全ての項目を評価して、すり合わせた。また、二人の評価が一致したものと、一致しない項目があった。
- ・ 資料が少なく、19・20年度 of 取組実績等から判断した。これからも前向きに取り組んで欲しいという期待感を込めながら評価した。
- ・ 資料が少なく、わからない部分があった。本来なら、市庁舎に1ヶ月位滞在しなくてはならないかもしれない。しかし、それは不可能である。
- ・ 第三者評価を行うことは、初めてであった。少ない資料の中で、総合評価を出して良いのかということが怖かった。ただ、これからも前向きに取り組んでいただきたいと考え、あまり絶望的な評価にならないようにした。
- ・ 担当する二人の委員で重点項目を分けて評価したが、すり合わせはできていない。
- ・ 情報量が少なかったので、用意された情報から読み込んでいくことが必要であり、他は想像を働かせなくてはならなかったのが難しく感じた。担当課に話を聞きに行くことや、他の資料を見なくてはならないと感じた。しかし、その場限りの評価で済むというものではないので、この点が今後の課題になると思う。最終的に懇談会として見直す時間があるということなので安心した。
- ・ 担当する二人の委員で重点項目を分けて評価した。すり合わせをしてもお互いに文書化しているので、それを直すことは難しいと考え、担当した分担をそのまま提出することとした。
- ・ 文書を読み、分かる範囲で評価することとした。担当した項目は、学校教育の部分であり、以前、関係する仕事をしていたこともあり、まじめに取り組んでいると感じた。特に、府中市の場合、学童クラブは希望者がほぼ全員入れているので、素晴らしいことだと感じた。放課後子ども教室は年会費500円で1年間預けることができ、また、500円は市の収入ということではなく、団体保険の保険料となること等を高く評価した。
- ・ 非常に評価しにくいと思う。取組と実績、計画を読んでも、前年度の提言が活かされていないと感じ、辛い評価をした。この事実を受け止めて、進めていただければ、形式的なものになってしまうと感じた。
- ・ 簡単に「こうする」ということが書いてあるだけで、それが何なのかが見えないというものが多くあった。
- ・ 事業を女性の問題として取り上げるものであるならば、その点を明確にすべきだと思った。
- ・ 資料が少ないと感じた。例えば、教育の場でこういうことを実践するならば、こういう資料がなくてはならないというものが、全く用意されていない。教育に関係のない人だったら、評価が大変ではないかと思った。
- ・ 前期の委員の提言について、キャッチボールがなされていないことが残念であった。提言がされていても、それが行われたのか、行われていないのなら、なぜなのかということが、まったく書かれていない。

- ・ 第三者評価の資料について、わからないことがあれば、聞きなさいということではなくて、わかる範囲の資料は用意しておいていただきたい。例えば、わからないことがわからなかったらどうするのだと感じた。
- ・ 担当した二人の委員が全ての担当項目を評価した。確実に評価するのであれば、担当課に話を聞きに行かなくてはならないと思った。
- ・ 担当した二人の委員で、集まって評価した。担当した項目の全体的な感想を書けるスペースがあれば良いと思った。
- ・ 本当に、市が男女共同参画を推進したいと思っているならば、担当課の方においていただくか、私たちが出向き話を聞く等して、真剣に取り組んで欲しいと考える。
- ・ この資料だけでは足りないということで、質問事項を出した。担当した項目の全ての担当課に対して、アンケート実施しているか質問した。
- ・ 担当した項目の全体的な感想として、子育てと子どもに関する相談先がたくさんに分散しており、市民にとって分かりにくいので、一つの窓口にする必要があるのではないかと考える。
- ・ 就労している人たちのために相談窓口は土日にも開設する方が良いと思う。
- ・ 保護者だけでなく、子どもも気軽に利用できる窓口があると良いと思う。

以上の各委員の意見を踏まえ、協議を進めたところ、次のとおり意見・質問等があった。

質問

- ・ 評価の内容で不都合なもの等の点検は、いずれできるのか。

回答

- ・ 1月の会議等で検討して、懇談会としての第三者評価を決定する。

意見

- ・ 同様の内容を担当している課が複数あるように感じるので、このようなことも含めて提言したい。

意見

- ・ 全体的に言葉で表現していることが多いが、数値で表した方がわかりやすいと思う。何を何回実施したら何人参加した、前年対比が何%増加した、減少したというように数値で入れるべきで、言葉だけではごまかされていることもあると思う。数値で表現するという事を明確にしておけば良い。

意見

- ・ 数値目標の欄に「該当する事業の目標が数値で表現するのに適さない」と記載されている項目があるが、このようにすれば数値で表せるのではないかと提言することも可能である。

意見

- ・ 数値は重要だが、良くできているもので、これ以上数値が上がらないというものもあると思う。こういった点も考慮する必要がある。ただ、数値が以前よりも良ければいいというものではない。

意見

- ・ 担当課の評価が曖昧なものに関してもチェックしたい。

質問

- ・ 資料がなければ、責任ある評価はできない。資料は誰がそろえるべきか。

回答

- ・ どのような資料が必要なのか、明確に出せば、懇談会として、担当課に要求する。

意見

- ・ そのことに関わっていれば、こういう資料があるべきだということができるが、全く関わったことがない人は、どういう資料があればいいのかもわからない。

意見

- ・ 評価される側の方も、莫大な資料の中からどの資料を出したらいいのかということがわからない。「わからないこともわからない、何でもいいから出してくれ」と要求しても相手方も困る。疑問があればそれを聞くべきである。

以上の意見を踏まえて、次回の会議で協議することとした。また、今回の会議で不足する項目、すり合わせが必要な項目については、調整して委員に配布することとした。

(2) DV被害者支援のための取組について

配布された資料等について、各委員から次のとおり意見と質問が述べられ、事務局が回答した。

質問

- ・ DV被害にあっている方の相談窓口は、主にどこになっているのか。

回答

- ・ 女性センターであり、状況によって関係部署に引継いでいる。

質問

- ・ 女性センターの存在を知っている方は相談に来館しやすいと思うが、相談窓口があることを市報等に掲載しているのか。

回答

- ・ 市報の他、ホームページ、女性センターの女性トイレ個室等にチラシを置く等して周知している。

意見

- ・ 多くのDV被害者は、女性センターに縁がないと思うため、女性センターのトイレ等においてもあまり効果がないと思う。スーパー、医院等、DVの被害にあっている方が利用する場所に置く必要があると思う。

意見

- ・リーフレット等を出しているというだけでは、やや形式的な印象を受ける。

意見

- ・追跡調査が欠けていると感じる。相談に来た方がどうやって窓口の存在を知ったのかということがわかる方が良いと思う。パンフレット・チラシ等を見て来た方が何人いるのか、追跡調査をした方が良い。

補足

- ・相談窓口を知った媒体については、統計を取っている。

意見

- ・女性センターに来ることのできた人は良いが、女性センターの存在を知らず来館できない人をどうするかが今後の課題である。

意見

- ・被害者は女性だけではなくて、女性も加害者になるということもある。

意見

- ・男性が受ける暴力は、言葉で受ける暴力が圧倒的に多いようだ。

意見

- ・DV被害者のための民間シェルターに対する助成金が少ないと感じる。

意見

- ・ある調査で、暴力を受ける女性の子どもにまで性暴力が及んでいることがわかった。

これらの意見を踏まえて、次回以降の会議で協議することとした。

6 閉会